

水産技術センター機関評価表

水産技術センター機関評価委員会

| 評価項目 | 評価点 | コメント |
|--------------|-------|---|
| 1 組織管理 | 4 / 5 | 適切な組織管理体制が整備されている。一方、少人数の職員で多くの事業を実施しており、人員の補充と効率的な事業運営が望まれる。 |
| 2 事業内容及び予算配分 | 5 / 5 | 関係者からの要望に基づき適切な研究課題の設定がなされている。観光漁業や県産品の振興・普及のための予算確保が必要である。急な支出にも対応できる柔軟な予算運用も検討すべきである。 |
| 3 施設の整備状況 | 4 / 5 | 老朽化した施設を有効活用している。事業の推進のみならず、防災や労務環境の観点からも、修繕や改修で対応できないものについては更新することが望ましい。 |
| 4 研究事業の成果 | 5 / 5 | 関係者からの要望を取り入れた研究事業において、多くの優れた成果が得られている。研究への取り組みも熱心であり、関係者からの信頼も厚い。また、得られた成果は学術的にも新規性や有用性がきわめて高い。 |
| 5 普及啓発活動 | 4 / 5 | 増養殖技術指導および広報誌による普及啓蒙活動は評価できる。ホームページやマスコミ、イベント等を通じた一般向けの広報活動をより積極的に行っていただきたい。 |
| 総合評価 | 5 / 5 | 限られた予算と人員で、ブランド魚の開発や優れた試験研究成果を上げ続けており、評価できる。また、開発技術の実用化や環境保全に関わる試験研究課題にも力を入れている。水産関係者からの信頼も厚く、山梨県の水産業や地域振興のためにも今後の事業活動に期待したい。 |

「注」 評価点の目安

| | | | | | |
|----|----|------|----|-------|-----|
| 評価 | 良好 | やや良好 | 普通 | やや不十分 | 不十分 |
| 点数 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

試験研究機関の処置

限られた予算、人員ではあるが、引き続き県民からの期待に応えられるよう、適切な課題の選定、業務の効率化、適正化に努めていく。観光との連携やブランド魚の普及に努めるとともに、一般県民向けの広報活動についても、さらなる充実に努めていく。施設の整備においては計画的な修繕、改修、更新に努めていく。